

第41回全国障害者技能競技大会  
<109>ワード・プロセッサ 競技課題 B

和文競技 「持続可能な世界を目指して」の作成 (制限時間80分)

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 英数字はすべて半角で入力する。
- 指示以外の設定内容については、作成例 (別紙) を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 図形やテキストボックスの行間については、作成例を参考に、適宜調整をする。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、ファイルを保存する。

- 保存場所はデスクトップの「ワード・プロセッサ」フォルダとする。
- ファイル名は「選手番号 持続可能な世界を目指して」とする。  
※選手番号とファイル名の間には全角1文字分のスペースを入れる。

2. 用紙の設定をする。

- 印刷面の余白は上30mm 下左右20mm程度にする。
- ヘッダーの右側 (上から10mmの位置) に「選手番号 競技者氏名」を入力する。  
※選手番号と競技者氏名の間には、全角1文字分のスペースを入れる。
- フッターの中央 (下から10mmの位置) に「ページ番号」を設定する。
- ページ設定で、行数は「40行」を指定する。
- 段落の設定で、「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」をオフにする。

段落

インデントと行間隔 改ページと改行 体裁

全般

配置(G): 両端揃え

アウトラインレベル(O): 本文  既定で折りたたみ(E)

インデント

左(L): 0字 最初の行(S): 幅(Y):

右(R): 0字 (なし)

見開きページのインデント幅を設定する(M)

1行の文字数を指定時に右のインデント幅を自動調整する(D)

間隔

段落前(B): 0行 行間(N): 間隔(A):

段落後(E): 0行 1行

同じスタイルの場合は段落間にスペースを追加しない(C)

1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる(W)

## ◆1 ページ目の設定

3. タイトル「持続可能な世界を目指して」をワードアートで作成する。  
ワードアートのスタイルは、作成例を参考に、以下の設定を行う。
  - フォント：メイリオ、36ポイント、緑系
  - 効果：文字の輪郭 白、影 緑系、変形 凹レンズ（下）
4. タイトルの左上に「ワード・プロセッサ用和文素材」フォルダの中から「SDGs.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
5. 「❖未来のために私たちができること❖」を入力し、以下の設定を行う。
  - フォント：メイリオ、12ポイント、太字、網かけ
  - 段落：中央揃え
  - 文字の背景色：青系
  - ※「❖」部分については、任意の記号を挿入すること
6. 「SDGs（エス・ディ・ジーズ）」～「ご紹介します。」までを入力し、以下の設定を行う。
  - 段落：最初の行インデント 字下げ1字
  - 「なんとなく」～「わからないんだよね」部分：段落の網かけ 10%、段落前の間隔 0.5行
  - 「ふわっとは」～「自信がないわ…」部分：段落の網かけ 10%、段落後の間隔 0.5行
7. 「まずはSDGsの基本から…」を入力し、以下の設定を行う。
  - フォント：メイリオ、12ポイント、太字
  - 段落：網かけ 10%
  - 画像：「ワード・プロセッサ用和文素材」フォルダの中から「地球.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
8. 「●持続可能な開発のための2030アジェンダ」～「SDGsです。」までを入力し、2段組みを設定する。見出しと本文は、作成例を参考に、以下の設定を行う。
  - 見出し1 「●持続可能な～」 「●一言で～」 「●策定された～」  
フォント：ゴシック体系、太字、下線、青系
  - 見出し2 「Leave No One ～」 「Sustainable」 「Millennium ～」  
図形：図形の色 緑系、影の色 薄い緑系  
フォント：Segoe UI、太字、10ポイント
  - 本文  
フォント：10ポイント 段落：最初の行インデント 字下げ1字
9. 作成例を参考に、右下の図形を作成する。
  - 矢印：右方向のグラデーション
  - 「2001年」、「2015年」、「2030年」部分：メイリオ、太字、9ポイント
  - 「ミレニアム～」 「持続可能～」部分：メイリオ、太字、6ポイント、青系
  - 「MDGs」、「SDGs」部分：Segoe UI、太字、文字の効果 反射

## ◆2 ページ目の設定

10. 「日本国内の取り組み」は、「7.」と同様の設定を行う。
11. 「2015年に」～「17位でした。」までを入力し、以下の設定を行う。
  - 段落：最初の行インデント 字下げ1字
12. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「国会議事堂.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
13. 「SDGs アクションプラン」は、「7.」と同様の設定を行う。
14. 「SDGs アクションプランとは、」～「更新されています。」までを入力し、以下の設定を行う。
  - 段落：最初の行インデント 字下げ1字
15. 表を作成し、「8つの優先課題」～「4つの重点事項」までのデータを入力する。  
作成例を参考に、以下の設定を行う。

### ●外側の表

- 罫線の種類：外枠 2.25ポイント二重線（青系）、内側 1ポイント実線（青系）
- フォント：10ポイント
- 1列目：文字の方向 縦
- 2行目、3行目：段落番号

### ●内側の表

- 罫線の種類：1ポイント実線（黒）、0.5ポイント破線（黒） ※3か所
- フォント：ゴシック体系、10ポイント
- 1列目：セルの色（薄い赤系、薄い青系、薄い緑系、薄い紫系、薄い黄色系）  
太字、箇条書き、均等割り付け

	<p>2.25pt (青) →</p>	<p>SDGs実施方針で掲げられた8つの優先課題（5つのP）をもとに、SDGsアクションプランの施策が定められています。☞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; color: red;">● → P e o p l e</td> <td>あらゆる人々の活躍の推進☞ 健康・長寿の達成☞</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; color: blue;">● → P r o s p e r i t y</td> <td>成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション☞ 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備☞</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; color: green;">● → P l a n e t</td> <td>省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会☞ 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全☞</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; color: purple;">● → P a r t n e r s h i p</td> <td>SDGs実施推進の体制と手段☞</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; color: yellow;">● → P e a c e</td> <td>平和と安全・安心社会の実現☞</td> </tr> </table>	● → P e o p l e	あらゆる人々の活躍の推進☞ 健康・長寿の達成☞	● → P r o s p e r i t y	成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション☞ 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備☞	● → P l a n e t	省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会☞ 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全☞	● → P a r t n e r s h i p	SDGs実施推進の体制と手段☞	● → P e a c e	平和と安全・安心社会の実現☞	<p>← 1pt (黒)</p> <p>← 0.5pt (黒)</p>
● → P e o p l e	あらゆる人々の活躍の推進☞ 健康・長寿の達成☞												
● → P r o s p e r i t y	成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション☞ 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備☞												
● → P l a n e t	省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会☞ 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全☞												
● → P a r t n e r s h i p	SDGs実施推進の体制と手段☞												
● → P e a c e	平和と安全・安心社会の実現☞												
8つの優先課題も													
3つの柱も		<p>日本のSDGsモデルを達成する上で、中核となる3つの柱が設定されています。☞</p> <p>① → ビジネスとイノベーション ～SDGsと連動する「Society5.0」の推進～☞</p> <p>② → SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境にやさしい魅力的なまちづくり☞</p> <p>③ → SDGsの担い手としての次世代・女性のエンパワーメント☞</p>											
4つの重点事項も		<p>SDGsアクションプラン2021で、政府が取り組むべき4つの重点事項がプラスされました。☞</p> <p>① → 感染症対策と次なる危機への備え☞</p> <p>② → よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略☞</p> <p>③ → SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出☞</p> <p>④ → 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速☞</p>											
	<p>→ 1pt (青)</p>												

### ◆ 3 ページ目の設定

16. 「どんな意味？」は、「7.」と同様の設定を行う。

17. 作成例を参考に、上部の図形を作成する。

■画像：「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「画鋏.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

■「S」、「D」、「G」部分：Segoe UI、太字、36 ポイント、緑系

■「SUSTAINABLE:」～「達成目標」部分：メイリオ、太字、16 ポイント、白

■「SUSTAINABLE」、「DEVELOPMENT」、「GOALS」ルビ部分：メイリオ、8 ポイント

■「People」～「Peace」部分：

#### ●図形

以下の図形を部分円 → 矢印 → 円 の順番で重ねる

・部分円 5 つ（赤系、青系、緑系、紫系、黄色系）

・矢印 5 つ（赤系、青系、緑系、紫系、黄色系）

・円 1 つ（白）

#### ●テキスト

・「People」～「Peace」：Segoe UI、10 ポイント、太字、白

・「人間」～「平和」：Meiryo UI、8 ポイント、白

18. 「17 のゴール」は、「7.」と同様の設定を行う。

19. 9 行 5 列の表を挿入し、作成例を参考に、以下の設定を行う。

■画像：「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から以下の画像を使用

「17 のゴール\_1.png」～「17 のゴール\_17.png」

■罫線：2 列目、5 列目 3 ポイント実線（青系）

それ以外 罫線なし

■フォント：

・「貧困をなくそう」～「パートナーシップで～」部分：ゴシック体系、太字、青系

・「AGENDA 2030」部分：Segoe UI、20 ポイント、黒、太字、割注（括弧で囲む）

セルの右下に配置

### ◆ 文書全体の調整

20. 指示に提示されていない事柄については、作成例と同様になるように編集する。

編集後は、上書き保存する。

**第41回全国障害者技能競技大会**  
**<109>ワード・プロセッサ 競技課題B**

**英文競技 「Tokyo」 Word ファイル、PDF ファイルの作成（制限時間60分）**

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 以下の番号は、完成した文書の各セクションの○付番号と対応している。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

**◆文書の設定**

1. 新規文書を作成し、「ワード・プロセッサ」フォルダに「選手番号 Tokyo」という名前で保存する。  
※選手番号とファイル名の間には半角1文字分のスペースを入れること。
2. 用紙サイズ：A4、マージン 25.4mm（1インチ）、とじしろ0に設定する。
3. フッターに、作成例の通り、競技者名（ローマ字）、ページ番号、本日の日付を入力し、下からのフッター位置 15mm に設定する。  
■フォント：Lucida Sans、サイズ：8
4. ページ罫線を引く。色：緑、線の太さ：3pt

**◆1 ページ目の設定**

5. ワードアート「Learn more about Tokyo」を挿入する。  
■フォント：Arial Black、サイズ：28、太字、色：青系、輪郭の色：白、光彩：青系  
■効果：変形 アーチ
6. 「ワード・プロセッサ⇨英文素材」フォルダ内の「cityscape.png」を挿入する。  
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。
7. 図形とテキストボックスを挿入し、作成例の通り、設定する。  
■図形の色：灰色系  
■フォント：Tahoma、サイズ：18、色：白、影
8. 本文を入力する。フォントと段落は、以下の通り設定する。  
■フォント：Lucida Sans、サイズ：10  
■段落：行間1行、両端揃え  
※他の箇所についてもフォントの指示がない限り、上記の設定を適用すること。

9. 文頭にドロップキャップを設定する。
  - 色：文字の色 青系、影の色 灰色
  - ドロップする行数：3
10. 長方形を挿入し、作成例の通り、設定する。
  - 色：図形 白、光彩 灰色
11. 「ワード・プロセッサ 英文素材」フォルダ内の「Japan.png」、「region.jpg」を挿入する。  
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。
12. 図形とテキストボックスを挿入し、作成例の通り、設定する。
  - 長方形（2種類） 図形の色：なし、枠線の色：緑系、破線
  - 矢印：右カーブ 図形の色：緑系、枠線の色：なし
  - テキストボックス Tahoma、サイズ：14、色：黒、輪郭の色：白

## ◆2 ページ目の設定

13. 本文「Weather, Geography」～「if not an inevitability.」までを入力し、「8.」と同様の設定を行う。
14. 見出し部分「Weather, Geography」は、以下の通り設定する。
  - フォント：Arial Black、サイズ：12、太字、色：紫系
  - 罫線：左 4.5pt、紫系、下 3pt、紫系
  - 網かけ：30%

15. 右図のデータシートを参考に、折れ線グラフを作成する。

- タイトル  
フォント：Tahoma、サイズ：10
- 軸、凡例  
フォント：Tahoma、サイズ：9
- プロットエリア  
黄色系→白→青系のグラデーション
- グラフの外枠  
色：黒、線の太さ：1.5pt

	A	B	C
1		Av. Low Temp	Av. High Temp
2	Jan	3.7	11.1
3	Feb	4	13.3
4	Mar	6.2	16
5	Apr	7.9	18.2
6	May	15.6	24
7	Jun	19.8	27.5
8	Jul	21.8	27.7
9	Aug	25.3	34.1
10	Sep	21.5	28.1
11	Oct	14.4	21.4
12	Nov	10.1	18.6
13	Dec	3.7	12.3

16. 見出し部分「Spring～」、「Summer～」、「Autumn～」、「Winter～」は、以下の通り設定する。
  - フォント：Tahoma、サイズ：11、太字、斜体、色：青系

### ◆3 ページ目の設定

17. 「History of Tokyo」は、「14.」と同様の設定を行う。
18. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「history.txt」を使用して、テキストをファイルから挿入する。  
挿入したテキストは1ページ目「本文を入力」部分（手順8）と同様の書式を適用する。
19. 見出し部分「Edo-」、「Meiji-」、「Taisho-」、「Showa-」、は、以下の通り設定する。
  - 画像：「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「flame.png」を挿入
  - フォント：Tahoma
    - 「Edo」部分など 色：青、サイズ：12、太字
    - 「Period」部分 色：青、サイズ：6
    - 「1603-1868」部分など 色：白、サイズ：9、太字 ※背景色は青系
20. 「Tokugawa Ieyasu」に、脚注「He unified the world, ending a world of more than 100 years of war.」を挿入する。
  - 脚注のフォント：Tahoma、サイズ：9
21. 区切り線は、以下の図形を使用して作成する。
  - ひし形①：塗りつぶしの色 赤系、ひし形②：枠線の色 黄色系、直線：線の色 緑系

### ◆4 ページ目の設定

22. 区切り線は、「21.」と同様の設定を行う。
23. 「Heisei-」は「19.」と同様の設定を行う。
24. 表を挿入し、作成例の通り、設定する。
  - フォント：Tahoma、サイズ：10
  - セルの色：「Meiji」部分 黄色系、「Taisho」部分 緑系  
「Showa」部分 水色系、「Heisei」部分 青系

### ◆文書全体の調整

25. 指示されていない部分についても、作成例と同様になるように編集し、上書き保存する。
26. 完成した文書をPDF形式で保存する。
  - ファイル名：「選手番号 Tokyo」